



2025年2月19日

株式会社ヘッドウォータース
(コード番号: 4011 東証グロース)

AIエージェントと業務データ連携で自律思考型AIを可能にする 「Agentic RAG」サービス開始



AIソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォータース（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田庸介、以下「ヘッドウォータース」）は、外部データやツールへのアクセスを通じて大規模言語モデル（LLM）の性能を最大限に引き出す「Agentic RAG（Agentic Retrieval-Augmented Generation）」サービスが開始されたことをお知らせいたします。

■ 経緯

ヘッドウォータースでは、「Azure OpenAI Service」による企業向けLLMサービスラインナップの拡充を行い、企業特有のニーズに応じたRAG（Retrieval Augmented Generation）のシステム構築や、コンタクト

センターAI エージェント（※1）、駅員業務 AI エージェント（※2）、マイグレーション AI エージェント（※3）、車載エッジ AI エージェント（※4）のほか、文章校正 AI や翻訳 AI など様々な AI エージェントの開発支援を行ってまいりました。

その中でヘッドウォータースは「AI エージェント」の早期導入に関心を持つ企業から多くの問い合わせをいただいており、企業内に蓄積された業務データと組み合わせて、一部の業務を代替する業務特化型 AI エージェントに対するニーズは非常に強いものとなっております。

ヘッドウォータースではこのようなニーズに対して、既に大手顧客導入実績のある「Agentic RAG」のサービス提供を行います。「Agentic RAG」は、AI エージェントと RAG のハイブリッドモデルである多段階検索と自律的推論プロセスを併せ持つテクノロジーです。

これにより、Word で作成された現場レポートや製品設計書、Excel の受発注資料や製品リスト、データベースに格納された管理データなど、業務ごとに最適化された業務特化型 AI エージェントを導入することができます。

また、AI エージェントに依頼するタスクを分担することで、特定のドメイン知識に長けた専門性と業務の効率性を向上させ、参照するデータソースを絞り込むことで RAG の精度向上にも貢献します。

業務特化した専用の AI エージェントを自律的に参照する「Agentic RAG オーケストレータ」、AI エージェントの全体設計指針である「Agentic Design Pattern（エージェンティック・デザインパターン）」プランニング、必要要件を満たすための最適な Agentic RAG アーキテクチャ構想支援、セキュアな Agentic RAG を早期構築するためのマルチエージェント基盤「SyncLect AI Agent」（※5）を合わせて提供することで、自律性と拡張性に長けた「Agentic RAG」環境を顧客内の Microsoft Azure 環境に構築します。

■Agentic RAG とは

「Agentic RAG」は、大規模言語モデル（LLM）がタスクに応じて“自ら考え、何を検索し、どのように活用するか”を判断する仕組みを取り入れた RAG 技術です。

従来の「Naive RAG」では、単一ステップの検索結果を元に応答を行うため、目的に応じて追加情報を取りに行く再検索や、部分的に不足したドキュメントを補完するといった作業を十分にカバーできない場合がありました。

これに対して Agentic RAG では、下記のような多段階・自律的なプロセスを実装することで、より高度なクリエイティブな業務要件にも対応できるようになっています。

1. 自律的思考プロセス

モデル自身が「まだ足りない情報は何か」「どのソースへ再度アクセスすべきか」を推論し、必要に応じて外部データソースへ追加アクセスを行います。

2. 多段階検索（反復的取得）

一度の検索だけでなく、状況に応じて複数回の検索や要約、再ランク付けを実行し、最適なコンテキストを構成します。

3. エージェント型推論

チャットボットや業務支援ツールが問い合わせに応じて行動し、さらに回答の根拠を提示することで高い説明可能性を実現します。

4. 高度なコンテキスト管理

複数のエージェントが連携して深い文章理解を行うことで、誤情報（ハリシネーション）の抑止や不要データの排除に繋げる仕組みを備えています。

■AI エージェントとは

AI エージェントは、自律的に特定のタスクを実行するインテリジェントなシステムで、複数の AI モデルを組み合わせることで、単一のモデルでは困難な高度なタスクを自動で実行します。企業では、電話応対やスケジュール管理、データ入力などの業務を自動化するために利用され、効率的なビジネス成果を達成するのに役立ちます。AI エージェントの国内市場は急速に成長しており、2024 年から 2030 年にかけての年平均成長率（CAGR）は 44.8% と予測されています。

■マルチエージェントとは

マルチエージェントシステムは、複数の AI エージェントが相互に作用し、協調してタスクを達成するシステムです。各 AI エージェントは自律的に行動し、周囲の環境や他の AI エージェントと情報を交換しながら、全体としての目標を達成します。

■RAG(Retrieval Augmented Generation)とは

Retrieval Augmented Generation (RAG) は、大規模言語モデル (LLM) と外部のデータベースや情報源を結びつけるための新しい技術です。外部の知識ソースを検索し、より強化した文章生成を行います。2024 年から 2030 年にかけて世界の RAG の年平均成長率（CAGR）は 44.7% で成長すると予測されています。

■今後について

当社では「Agentic RAG」は企業独自の AI エージェント活用において、あらゆるプロジェクトでデファクトスタンダードになる技術と考えております。

企業は、AI エージェントを活用することで、減少する労働人口に対応した新たな働き方の創出を目指しています。こうした動向を支えるため、当社は業務効率化やコスト削減といった既存の課題を解決するだけではなく、次世代のユーザーエクスペリエンスを提供する革新的な AI エージェントソリューションの開発に取り組んでまいります。

また、ヘッドウォータースの掲げるアライアンス戦略では、顧客企業ともビジネスパートナーとなり、共に生成 AI 経済圏を拡大する取り組みを行ってまいります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

※1：大和証券と協働し、AI オペレーターを開発 ～ 生成 AI 活用による顧客体験（CX）変革を実現 ～

https://www.headwaters.co.jp/news/hws_daiwa_ai_operator.html

※2：JR 西日本の生成 AI 「Copilot for 駅員」に対する開発支援を行っています

https://www.headwaters.co.jp/news/jr_west_ai_copilot_for_ekiin.html

※3：「Azure OpenAI Service OpenAI o1」や「GitHub Copilot」などの生成 AI をマイグレーションに活用する「マイグレーション AI エージェント サービス」を開始

https://www.headwaters.co.jp/news/migration_aiagent_service.html

※4：自動車業界向け生成 AI サービスラインナップを強化 ～第一弾は車載エッジ AI エージェント～

https://www.headwaters.co.jp/news/Invehicle_edge_ai_agent_hws.html

※5：次世代 AI エージェントサービス「SyncLect AI Agent」の提供開始

https://www.headwaters.co.jp/news/synclect_ai_agent_release.html

■参考情報

・マイクロソフト ジャパン パートナー オブザイヤー 2024において「AI イノベーション パートナー オブザイヤー アワード」を受賞

https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft_Japan_partner_year_award_2024.html

■商標について

Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォータース

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005 年 11 月

URL：<https://www.headwaters.co.jp>

<本件のお問い合わせ>

株式会社ヘッドウォータース

メール：info@ml.headwaters.co.jp